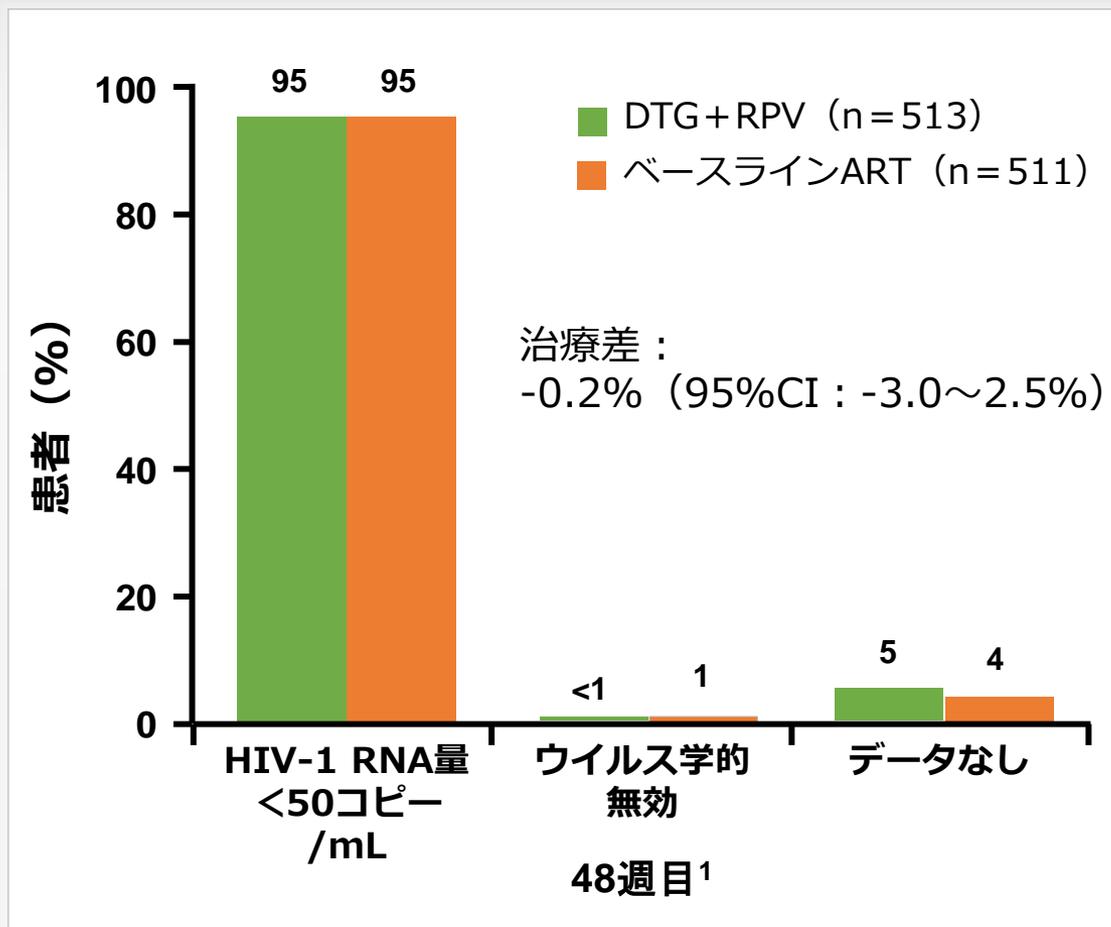


SWORD-1および2試験：投与48週目時点、DTG + RPVへの切り替えはベースラインARTの継続に対して非劣性



- 36週目にウイルス学的中止の基準を満たしたDTG+RPV群の患者1例では、K101K/E混合変異が認められた。
- VF時にアドヒアランス不良が認められた。
- DTG+RPVの継続により再抑制が得られた。
- INSTI耐性なし
- 100週目：ウイルス学的中止1%、投与期間中に発現したNNRTI耐性3/10例、すべて早期切り替え群²

1. Libre JM, et al. *Lancet*. 2018 Mar 3;391(10123):839-849. 2. Aboud J, et al. *Lancet HIV*. 2019;6(9):e576-e587.